

研究業績調書記載および提出について

I 学術論文リスト、II 本会学術集会発表リストについて、研究業績調書を下記要領に従い作成して下さい。

そして、審査のため、対象となる研究に関する代表的な論文5編以内のコピー各11部を、申請書類とセットしてご提出下さい。なお、添付された論文は返却いたしません。

◆ 提出いただく論文リスト

I 学術論文リスト

学会誌「臨床病理」を含め、これまでに国内外の学術誌に発表した論文リスト。

II 本会学術集会発表リスト

◆ 研究業績調書作成要領

I 学術論文リスト

リストの最初に、下記 中のおり、論文数、IF のまとめをご記載下さい。

- | |
|-------------------------------|
| ・欧文論文数(総数：) (筆頭数：) |
| ・邦文論文数(総数：) (筆頭数：) |
| ・IF 総数 () ・筆頭著者論文の IF 総数 () |

そして、論文毎に、番号、著者名、論文題名、発表雑誌名、巻、号、頁～頁、発行年、Impact Factor (2019年) の順に記載して下さい。

※ 論文リスト記載での注意事項

1. A4用紙にまとめて下さい。
2. 原著、症例報告及び総説に区分し、それぞれ英文・邦文ごとに、年代の新しい順から記載すること。なお、シンポジウム Proceeding 等でほぼ全文が印刷される場合はこれに含むが、学会発表の抄録はこれに含まない。
3. 著者名は論文と同じ順に省略せず、全員を記入し申請者のところにアンダーラインを付して下さい。また、論文の始めと終わりの頁数を記入すること。
4. 論文の最新の Impact Factor (2019年) を、それぞれの論文の末尾に()でくくって記入すること。また、Corresponding Author または Last Author である論文は、番号の前に※を付すこと。

II 本会学術集会発表リスト

A4用紙に、本会学術集会での、特別講演、シンポジウム、演題発表の順に主なものを、それぞれ英文・邦文に分け、年代の新しい順に、番号、発表年、第○回学術集会、発表者名、演題名を記載して下さい。また、臨床検査医学に関連した発表に丸を付けてください。